

香貫山保全利活用指針

平成 24 年 9 月

沼 津 市

【 指針策定の背景と目的 】

香貫山は市街地に隣接し、誰でも手軽に自然とふれあえる山として、永年市民等に親しまれてきました。香陵台や山頂からの眺望を楽しんだり、山中を散策することで健康増進を図ったりと、多くの方々が、香貫山を利用されています。

今後も市民等に香貫山の恵みを享受していただきたいと思いますが、利用する方々が、それぞれの考え方にもとづいて自由に香貫山を利活用した場合、知らず知らずのうちに自然環境の破壊や他の利用者の迷惑につながるということも考えられます。

このため、香貫山の豊かな自然を保全しつつ、より多くの方々に親しんでいただくために、保全と利活用に関する基本的な考え方を明確にし、市民等と行政が共有する指針として、「香貫山保全利活用指針」を策定するものです。

【 めざす香貫山のすがた 】

香貫山は、その豊かな自然を、市民等と行政との協働により次世代に引き継いでいくため、今ある自然の保全を最優先とし、自然とのふれあいを通して、感性を養い、自然を学び楽しみ、健康増進を図ることのできる山を目指します。

そのため、自然環境への負荷が増大するような大規模な施設整備は行わないこととし、利便性を追求するのではなく、自然の保全と利用者の安全性に配慮しながら、節度ある利活用を図るものとしします。

【 香貫山の保全と利活用についての考え方 】

- 1 今ある植生を活かしながら、多彩な植生でさまざまな動植物が生息する森林を目指します。
 - ・ これまで市民等の協力により積極的にサクラの植樹を行ってきましたが、これからは、量を増やすのではなく、これまで植栽されたサクラや自生のサクラを活かし、育成していきます。
 - ・ 広場やハイキング道沿いなど多くの人を利用する場所は、危険木や支障木の剪定、伐採など安全性・快適性に配慮した管理を行います。それ以外の場所は、今ある植生を活かし、必要に応じた管理を行います。

- 2 動植物などの自然や歴史など、香貫山に関する資料の収集を行うとともに、市民等が利用しやすいよう、その情報の発信に努めます。
 - ・ 市民等・行政・専門家との協働による現地調査や自然観察会などを実施します。
 - ・ 香貫山に関する資料・情報を、社会教育施設やホームページ等を活用して、手軽に利用できるよう情報発信します。

- 3 ハイキング道や案内看板、トイレ・ベンチなど、既存施設の改善・充実に努めます。
 - ・ 散策やハイキング、自然観察などのさまざまな利用を踏まえつつ、施設の改善・充実に努めます。

- 4 香貫山は徒歩による利用を基本としますが、現状を踏まえ、一般車両の乗入れは、当面香陵台までとします。
 - ・ 麓への駐車場・駐輪場の設置の可能性や、車道を歩く利用者の安全性の向上について、可能な対応策を検討します。

- 5 香貫山の立地条件や自然環境等を活かし、より効果的な利活用に努めます。
 - ・ 健康づくりや自然環境教育の場、津波避難地等としての利活用について、検討します。
 - ・ 中心市街地や沼津港、狩野川などと連携した利活用を検討します。

【 香貫山の保全と利活用の推進にあたって 】

1 行政の取り組み

- 今後、この指針にもとづき市において、可能なところから具体の施策を検討・実施していくこととなりますが、施策を実施する際には、市民等と行政や専門家などが出来る限り協働して実施できるよう配慮します。
- 市民等と行政が香貫山に関する定期的な意見交換を行なう機会を設けます。

2 市民等の取り組み

- 「ゴミは持ち帰る」「外来種は持ち込まない」など、香貫山に関するルールを守って利活用します。
- 清掃や自然保護などの活動に、積極的に協力します。
- 利活用の際気づいた、危険箇所や不都合等を市に連絡します。

担当課

沼津市役所産業振興部農林農地課